

7024

(有)錦山八木製陶所

KINZANYAGI SEITOUSYO

事業所名	(有)錦山八木製陶所	FAX番号	0561-82-6386
代表者名	八木 俊夫	Eメール	kinzan-yagi@work.odn.ne.jp
所在地	〒489-0023 瀬戸市窯元町173-7	ホームページ	http://www.kinzanyagi.com
連絡先	0561-82-5660	部会名	オーナメントウエア部会

先代が1960年に創業し、赤津土で貫入が入る独特な和食器を作っていました。

商品としては、土物の和洋食器が主流で、手ろくろではないですが機械で作りますが、手で少し削ったりして美濃とは違う商品づくりを心掛けています。また、ほとんどは手描きが基本で、粉引きを使い、釉薬も何百種類と揃えていろんなものを作っています。商品のアイテムは豊富にあります。時代の流れで消えていく商品もあります。下地のデザインは、私と社員、デザイナーで考えて毎日のようにサンプルを作っています。

地球環境を考えてバイオマスもやりました。トウモロコシと土、貝殻を混ぜて1300°のところで200°で焼いて二酸化炭素を減らし、加工は漆で施した商品を作りましたが、今の時代のコストにあわず高い商品になり失敗したこともありましたが、常に時代のニーズを捉え前向きにチャレンジしています。

写真にあるピンクの商品は、台湾と中国のショーで新作として発表しましたが、これも手間が掛かり素焼きを3、4回やらなくてはいけなくて、コスト面は高くなりましたが評判は良かったです。

他に変わった商品として、ピザ窯なども作っており瀬戸の元気企業として紹介され、売上も順調に伸びています。

東京のギフトショーや見本市などに新作を出品して、販売路を拡げています。

2005年には、最終ユーザーさんにどれだけ近づけるかと東京へ進出し、新しいお客様獲得のための販売会社を起ち上げました。

1個からでもオリジナル商品を作りますとPRしており、発足して7年目くらいからこのような商品を作りたいからという企業様からの問い合わせが増えてきました。



一福碗



みのりシリーズ



一福碗



大樹



花の舞